

平成28年度 高田小学校 「豊かな心の育成」推進プラン

中期学校経営方針・「豊かな心」達成目標

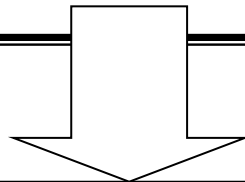
☆異学年交流や福祉活動、人権教育活動、体験学習等を取り入れ、豊かな心や人間性、思いやりの心やふれあいを大切にしようとする心情を育てていきます。

児童の実態（「豊かな心の育成」にかかわる課題）

- ・学援隊や地域のボランティアの方々にも恵まれ、のびのびと学校生活を送っているが、自分からのあいさつが未熟だったり、失礼な態度をとってしまったりする。
- ・いろいろな活動に積極的に取り組もうとする意欲はあるが、コミュニケーションをうまくとることができずに、トラブルにつながる場面がある。（暴言、暴力）

「豊かな心の育成」に関する指導の目標・方針

- ・異年齢集団活動でのねらいを明確にし、計画的に活動することで、主体性、思いやりの心を育てる。
- ・学級活動の充実を図り、コミュニケーション力や自主性、実践的な態度を高めていく。



指針1 「道徳の時間」の充実

- ・全学級の道徳の授業を、授業参観や学校を開く週間に実施し、年に1回以上は公開授業とする。
- ・カリキュラムをもとに、授業実践した資料や指導案を蓄積して、次年度以降の参考となるようにし、さらに互いの授業を見合うことで、指導力を高めていく。

指針2 体験活動の充実

- ・特別合唱クラブ、特別陸上クラブ、集会活動など異年齢集団の活動を充実させる。
- ・ペア学年（1・6、2・4、3・5学年）での縦割り活動を行い、上級生としてのリーダー意識、グループ内で互いを思いやる気持ち、協力し合う気持ちを育てる。